

新しい生活文化を発信する

# アイム

# 4/1

2003(平成15)年  
第3回 8月・12月・4月 発行

## NO.6

発行 / 立川市  
編集 / 文化児童部女性総合センター  
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2  
☎ 042-528-6801 FAX042-528-6805



## アイムは「市民参画」がキーワード

何かをしたい、何かをやり遂げたい、でも、自分にはこれといった経験もないし、グループや団体にも入っていないからとあきらめている方、「市民参画」をすすめているアイムがあります。写真はみな、アイムでの活動の「コマ」ほら、たくさんの市民が集まっています。

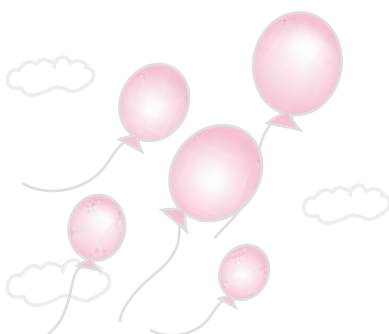
## 主催する、参加する、一人でも大イベント!!

アイムのめざす大きな柱は2つあります。男女共生社会の実現と「消費生活の向上」です。4月現在、アイムでは約50の登録団体をはじめ多くのグループ、団体が活動しています。私は個人なんだけど、という方もだいじょうぶです。アイムで活動するには、個人でも、グループでも参加できます。

個人で、という場合どういふものがあるでしょうか。その一例に、イベント等の実行委員の公募に応募してみることがあげられます。この例の一つ、アイムフォーラム実行委員会」におじゃましました。「アイムフォーラム」の実行委員は公募制で女性と男性が一緒に活動しており、男女共生社会のお手本のような実行委員会です。会は月1回、夜に行われていますが、委員の皆さんは元気いっぱい。今回初めてフォーラムの参加申し込みをはがきで受け付けることになり、各世代の委員がそれについて活発に意見交換をしていました。途中、委員の一人からみかんの差し入れもあり、和やかモードに。いいものを創りあげたい、市民の方に一人でも多く来てほしい」という熱意がひしひしと

伝わってきました。グループ、団体参加での例では「くらしフェスタ立川」の実行委員会があります。この実行委員会は既存の消費者団体と公募の団体から構成されています。今回から名称は変わりましたが、30回の実績のある催しなのです。昨年5月の発足以来、会合と準備を重ねてきました。今回は、新たに女性の医療や環境問題に取り組んでいる団体も加わり活動が広がっています。1月の実行委員会はもう最終段階で、委員の皆さんの「成功させましょう。市民の皆さんにもっと消費生活問題に関心をもってほしいから」という前向きな思いが伝わってきました。

アイムは年齢、性別を問わないバリアフリーエリアです。あなたもこの春、アイムに出かけてみませんか。



# 消費生活相談コーナー Q&A

**Q** サラ金に多額の借金があり支払いが困難です。低利で借金を一本化など、折込チラシにてありますが信用できるでしょうか。多重債務で返済困難の状態になったときは、個人で解決するのはむずかしいので、専門の相談機関にご相談ください。適切な相談窓口を知らない多重債務者を食いつける、紹介屋・買取屋・整理屋・提携弁護士による二次被害も急増しています。おとり広告にも十分注意が必要です。

**【アドバイス】**  
サラ金のテレビCMや広告、無人契約機増加の一途をたどる中、立川市の相談コーナーに寄せられる相談件数のトップもほとんど毎年サラ金・クレジット関係です。サラ金の金利は、大手業者も含めて年25〜29.2%と、現在の銀行の普通預金金利の2万5000〜2万9200倍もの高金利です。そのため、たった1回のもりでもあつたという間に多重債務に陥ってしまう危険性

があります。その上、超高金利で貸し付けを行うヤミ金融が大きな社会問題となっています。もともとヤミ金融は、貸金業の登録をせず無登録で営業を行うために「闇」の金融業者が多かったのですが、最近では登録をしながら出資法の金利規制に違反して貸し付けを行うヤミ金融も増えています。多重債務に陥ったら、すぐに弁護士会などの専門の相談窓口で相談することが大切です。多重債務者が弁護士に債務整理を依頼したり、多重債務者自身が調停・個人再生手続き・自己破産などの裁判手続きをとったことをサラ金・クレジット業者に通知すれば、業者の取り立ては止まります。

**多重債務の相談窓口**  
弁護士会四谷法律相談センター  
03-5214-5152  
弁護士会神田法律相談センター  
03-5289-8850  
多摩法律援助センター  
042-526-2851  
立川簡易裁判所(特定調停の場合)  
042-522-3295  
(財)日本クレジットカウンセリング協会  
03-3226-0121

**消費生活相談コーナー**

立川市では、専門の消費生活相談員が皆さんの相談を受けてその問題解決や被害防止のためのアドバイスをしています。困ったとき、おかしいと感じたときには、ひとりで悩まずお電話ください。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 月・金曜日  
午前9時～正午  
午後1時～午後4時  
TEL042-528-6810

**カウンセリング相談**

毎日の生活の中で、苦しいこと、困っていること、どうしたらいいかわからないこと、ひとりで悩んでいませんか。専門のカウンセラーがあなたの悩みなどを整理したり、解決のための糸口を探ってお手伝いをします。面接(要予約TEL042-528-6801)と電話相談(TEL042-528-6802)があり、土曜日は電話のみの相談となります。相談は無料、秘密厳守で行っています。

相談受付 火・木・土曜日  
午後1時～5時

**気になる言葉**

**配偶者特別控除**  
税制上、所得の一定額を課税対象から除くことを控除といいますが、61年施行の「配偶者控除」は、一般的に妻の収入が103万円(02年現在)未満の場合38万円の控除を夫に認めています。87年にはその上乗せ措置として、配偶者の収入に応じて最高38万円の「配偶者特別控除」が導入されました。妻の内助の功にさらに配偶者控除が導入されたことにより、自営業に比べ給与所得家庭が不利、妻の収入が103万円を超えた時に起こる、世帯の手取り額の逆転現象の防止などが、「配偶者特別控除」導入の理由でした。しかし、

**ボジティブアクション**  
直訳すると肯定的・積極的な行動または実行。転じて少数派の受け入れを積極的に進める取り組みをいいます。民族・宗教における少数派、障害者などの社会的弱者、性別・年齢などに

**私の一言一言**

「市民参画」について  
アイムで出会った方々にお聞きしました。

市民企画活動事業は、どんな人が集まるかわからないので不安もあるが、まったく知らない人が自分たちの企画したものに集まってくれるのは自信がたつ。これっていいな。  
(40代女性)

私のかかわった企画事業では立川市外の受講者が多く、立川市民をどうやって集めるかが悩みの種。  
(50代女性)

子育てに疲れ、子どもから少しでも離れたく保育つきの講座を受講しました。ほんの数時間でも自分が取り戻せたようでうれしかった。  
(30代女性)

エンパワーメント講座を受講してから、自分の考えを表現することに慣れてきました。今では、PTAの会議でも積極的に発言しています。  
(30代女性)

グループの会合には、たとえ遅れても、10分しかいらなくても来ます。活動は楽しいし、来ないと損した気がしません。  
(50代女性)

アイムフォーラム実行委員をしました。普段は地域とかわることがないが、この実行委員会は市内のいろいろな世代の方と交流し、一つのものを創り上げていけるのが楽しい。  
(20代男性)

グループで活動していますが、エンパワーメント講座を受けていなければ、こんなふうには自分の思っていること、考えていることに自信をもてなかった。今はがんばれるし、会に参加するのが楽しい。  
(50代女性)

アイムの企画に参加したことがきっかけで知り合いの輪が広がり、次々といろいろな活動に参加するようになりました。  
(40代女性)

公募でアイムフォーラム実行委員になってから、地元で友人がふえて新しくグループをつくれたり、市民企画活動事業をするようになりました。自分の願いや希望が形になるって楽しい。  
(30代女性)

背景には、消費税導入による負担増から目をそらすくらいがあったと指摘されています。  
導入当初から専業主婦家庭優遇、税制上不公平という不満の声も少なくありませんでした。今回、逆転現象防止の措置の一部を除いて04年に配偶者特別控除の原則廃止が決まりました。ライフスタイルの多様化や少子高齢化などの構造変化にもなろうと見直しとされています。厳しい税環境の中、安易な増税手段との見方もあります。

この言葉は99年施行の改正男女雇用機会均等法に明記され、注目されました。男性優位や固定的な性別役割分担意識を打開し、男女共同参画社会の鍵となる言葉です。  
企業はこの法律を受けて男女労働者間の差別を見直し、女性活用に関する問題点の発見と、その解決のための具体的な取り組みを推進するよう努めなければなりません。すでに外資や大手のごく一部の企業で、採用や幹部登用の際に「女性の登用優先」制度を設けるところも出てきました。たとえ制度上で男女平等でも、事実上、格差があるという考えを認めることで画期的なことです。

## 仲間をつくらせて活動しよう



アイムや公民館で行われる講座や市が公募する研究会に、自分に興味のあるものを見つけて参加する方法もあります。多くの人とかかわり、違った意見を聞くという、家庭や職場の中だけでは得られない体験を通して、成長し合える仲間と出会えます。そんな仲間たちがグループをつくっていきいきと活動している様子を紹介します。

**スウィング21**は、高松公民館の講座からの仲間、精神的・社会的に自立し、自分らしく、「自分が主人公の人生」をテーマに活動しています。昨年12月に「介護するとき、されるとき」と題した2回講座を企画・運営しました。メンバーの一人が実際に介護に直面したことがきっかけで、自分たちの視点からさまざまなことを市民や行政に働きかけていきます。

ほのぼの会はアイムが主催するエンパワーメント講座第4期生によるグループ。毎年、市民企画活動事業として講演会等を企画・運営しています。最初の2年は女性の目で見えた税金制度について、そして昨年度からはメディア・リテラシー(情報を自分なりに読み解くこと)に取り組みんでいます。今年は2月5日に「主婦の目でワイドショーを100倍楽しむ方法」を開催しました。その準備には連日の会議となりたいへんそつですが、「楽しいから来よう」とメンバーは話していました。

**くらぶ・パリアフリー**は市が公募した、立川市消費者問題研究会によるグループで、消費生活の身近な問題について考えています。年間の活動テーマを決め1回の研究会のほか、見学や実習などを行い、その成果を「くらしフェ

スタ立川」で発表しています。今年は「スローフードを見直してみませんか」という自主講座を開催し、手打ちうどん・ゆで餛飩・菜の花の辛し和えを講習しました。

どのグループも年代の壁を越えて和気あいあいとし楽しそう。自分が成長する喜び、社会に発信している生き甲斐を感じています。きっかけは何でもいい、小さな一歩から社会参加、仲間をつくらせて楽しく活動してみませんか。



**市民企画活動事業**  
「アイムに集まった女性達の5年間の記録」発表会

受付で渡されたずっしりとした手づくりの冊子の表紙には、「アイムに集まった女性達の5年間の記録」というタイトルがありました。1996年の第1期から始まった「女性のためのエンパワーメント講座「ワークショップに挑戦」」の記録です。

このエンパワーメント講座は、男女共生をテーマの一つのワークショップを企画、実施することを通して、女性の能力を開発し磨いていくことがねらいです。4か月16回の連続講座で、毎年同じ内容、同じ講師で続けられ、講座修了後には自主グループが生まれています。この日の発表会は、前掲の冊子をもとに、エンパワーメント講座を振り返っての報告と話し合いました。講座誕生のきっかけやその後の経緯が話され、この日の参加者の発言から、とても充実した内容のエンパワーメント講座であったことがうかがえました。

**手を取り合えば さらにパワーアップ**

アイムに集うグループや団体がネットワークをつくり、単独ではできない活動を行い、力を発揮しています。7年間毎年実施されているエンパワーメント講座の修了者によって誕生した7つのグループは、それぞれ独自に活



# 立川この人

## もっと気軽に地域とともに



たかはしよしお  
高橋由蔵さん  
1936年生まれ。砂川町在住。  
立川・手づくり公園の会長。  
東京都環境学習リーダー。

立川・手づくり公園の会  
はどのような会ですか。

地域住民の参加による特長  
ある公園づくりをめざして01  
年10月に発足したボランティア  
組織です。活動の場所は元  
自動車工場の駐車場跡地につ  
くられた「下砂橋遊び場」を中  
心に、隣接した小公園、旧残堀  
川一帯です。

高松公民館の、身近に見つ  
ける野草の暮らし」という4  
回講座で、この遊び場をどの  
ような公園にしたいかを盛り  
込んだのが最初で、この受講  
生が中心になってたちあげま  
した。活動内容は環境学習が  
できるように小学校の教科書  
に載っている草木を植えたり、  
公園管理もしています。

また、子どもたちが公園に  
来て、自然観察や地域文化に  
ふれ合えるように行事を計画  
しています。昨年10月には、「く  
るり棒」という昔の農具を使

って麦打ちをした後にすいと  
んを食べ、自然観察をしまし  
た。子どもたちは初めは棒を  
うまく回せなかったのに、最  
後には上手になったのでびっ  
くりしました。2月に「公園で  
遊ぼう」という催しで、藁と空  
き瓶を使った一輪車をつく  
ったときは、藁がなくて田舎  
の兄に送ってもらいました。  
新しい会なので失敗も多く、  
手探りの状態です。

自然や環境問題に熱心に  
取り組んでいらっしゃいま  
すね。

きっかけは3つあるんです  
よ。岩手の自然の中で育って  
きたこと。23年前立川に越し  
てきたときには、玉川上水に  
ホタルがたくさん飛んでいた  
ので、またホタルが飛ぶよう  
に自然環境を守りたいと思っ  
たこと。デンマークの日本法  
人に勤務していた頃、この国  
の人たちの地球環境を考えた  
生き方に感動したことです。

在職中から1年2か月間  
東京都の環境学習リーダーの  
土曜日コースを受講しました。  
それ以来、トンボの幼虫のヤ  
ゴの救出もしています。今、都  
会ではトンボの子育ての場所  
はプールしかないのです。木

の葉が落ちて土が溜まったと  
ころに植物性プランクトンが  
湧いて、それを食べるヤゴが  
生まれ育っています。ところが  
プールを使用する前に清  
掃して下水に流してしまうの  
で、子どもたちと採って助け  
る活動をしています。カエル  
もメダカも一緒に泳げるプー  
ルを大人になったらつくって  
くれないかなと、子どもたち  
には言っているんですよ。

このような活動を続けて  
いらっしゃるエネルギーは  
どこから来ているのですか

いくつかあるのですが、一  
番はほけ防止です(笑)。次に、  
学校に出入りするようになり  
子どもとふれ合えること。3  
つ目が、さまざまなタイプの  
人間が助け合い、仲間づくり  
ができることです。

だから、定年退職した人に  
は、ぜひ活動をすすめていた  
いです。ビジネスは利益と時間  
と効率を考え、パーフェクト  
を求められる。しかし、ボラン  
ティア活動は違います。この  
会はお互いの親睦がメインな  
ので、活動は月3回ですが、2  
回でも1回でもいいので、も  
っと気軽にできてほしいの  
です。活動しているうちに得  
意分野というか、これは自分  
に任せてもらえればいいなと  
いうものが出てくると思いま  
す。仕事で培ったノウハウを  
地域で子どもたちのふるさと  
づくりのために活かす。知識・  
技術のリサイクルみたいなも  
のです。人生が充実しますよ。

# アトム インフォメーション

アトムでは女性も男性も共にいきいきと  
暮らせる男女共生社会を築くために、さ  
まざまな事業を実施しています。

## 募集します

### 市民企画活動事業

2003年度の市民企画活動を希望するグル  
ープを募集します。この事業は、女性を取り巻  
くさまざまな問題解決や男女共生社会の実現  
にむけて、学習・調査・研究等の企画・運営  
を一定条件のもとに委託するものです。

**応募条件** 5名以上のグループまたは団体  
(半数以上が立川市民で、主体的に  
企画・運営している事)

### アトムフォーラム実行委員

2003年度のアトムフォーラムの企画・運営  
を行う実行委員を募集します。原則として、  
会議は夜間に行います。

**募集人員** 若干名(市内在住・在勤・在学)

### 立川市消費者問題研究会参加者

立川市消費者問題研究会(スローフードをす  
すめる会)は、暮らしに関する身近な問題を  
テーマに活動しています。2002年度は「健  
康な生活を維持するための食生活」をテーマ  
にして、月1回の会議を中心に、見学や実習・  
暮らしフェスタへの参加などを行いました。

**応募条件** 市内在住の20歳以上の方

### 暮らしフェスタ立川参加グループ

暮らしに関する問題提起や情報発信をしてみ  
ませんか。2003年度に開催する「暮らし  
フェスタ立川」に参加するグループ(メンバ  
ーの中心が市内在住・在勤)を募集します。な  
おグループの代表者には実行委員会に出席し  
ていただきます。

## アトムワークショップ実行委員

第4次男女共生社会推進計画の策定にあたっ  
て、広く市民の意見を反映するために話し合  
いの場(ワークショップ形式)を開催します。  
この事業の企画・運営を行う委員を募集しま  
す。保育あり。

**募集人員** 若干名(市内在住・在勤・在学)

## 情報紙「アトム」市民編集委員

この情報紙は市民の編集委員により企画編集  
しています。あなたも編集委員になって楽し  
い紙面作りに参加してみませんか。保育あり。

**募集人員** 若干名(市内在住・在勤・在学)  
薄謝あり。

—以上の募集については—  
**申込締切** 4月25日(金)(は4月15日)  
**申込方法** は所定の用紙、 はハガ  
キに住所・氏名・年齢・電話番号・  
応募動機を記入し郵送してくださ  
い。 は電話で申し込んでください。  
〒190-0012 立川市曙町2-36-2  
立川市女性総合センター・アトム  
TEL042-528-6801

## 開催しました

### アトムフォーラム2003

3月2日、作家の落合恵子さんを講師に迎え  
「さまざまな世代のそれぞれの自立～あなた  
色に歩いていこう 誰に遠慮がいるものか～」  
をテーマに開催しました。

## くらしフェスタ立川

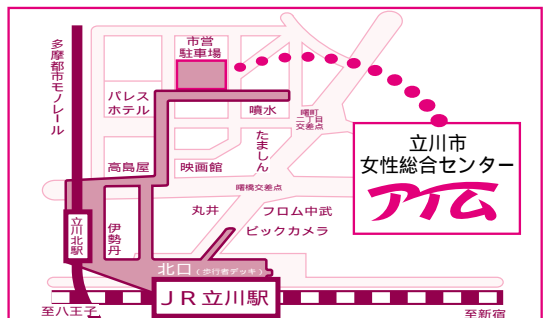
3月1日・2日、「アトムで発見いきいきライ  
フ～見て、ふれて、たしかめて～」をテーマに  
開催し、さまざまなテーマブースでの発表・体  
験や講演会・講習会などのほか、100円カレ  
ー・喫茶・スタンプラリーでにぎわいました。

## マイメッセージ～5分間わたしの主張

2月2日、5分間に思いをこめて10名の女  
性による意見発表会が行われました。ゲスト  
には講師の田辺鶴英さんを迎えました。



第3次男女共生社会推進計画2001(平成13)  
年度の推進状況がまとまりました。アトム資  
料室で閲覧できます。



新しい生活文化を発信する情報紙「アトム」は市民編集委員が企画・編集しています。